

情報セキュリティ方針

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（略称 JADA）は、スポーツが公正に行われる為の基盤を整備し、スポーツのさらなる発展と普及を支えるため、アンチ・ドーピング活動を行っております。

この活動の推進のため、当機構では必要な情報を競技者および関係者・関係機関からご提供頂いています。

スポーツの発展と普及を通じてより良い社会の実現を目指す当機構においては、ご提供頂いた情報の重要性に鑑み、情報の適切な安全管理体制を構築するとともに安全管理措置を実施し、様々な脅威から情報を保護することに全力を挙げます。

また、当機構の活動に関わる全ての者は、情報セキュリティに対して高い意識を持ち、情報の安全管理のための物理的・技術的・組織的なセキュリティ対策を行います。

そこで、当機構はこの「情報セキュリティ方針」を定め、当機構の情報資産の適切な利用および保護のための指針とします。

1. 当機構は、情報セキュリティの重要性を十分に認識し、適用される要求事項を遵守します。
2. 環境の変化に合わせて情報セキュリティマネジメントシステムを定期的に見直し、セキュリティ対策の適切な維持、改善を図ります。
3. 情報セキュリティの統括責任は専務理事が負い、専務理事は適用範囲の従業員が必要とする情報を提供し、率先して情報セキュリティマネジメントを推進します。
4. 適用範囲の従業員は、事業目的の達成および当機構への信頼の維持・向上のために、本方針を遵守し、情報資産を扱います。

制定日 2016年(平成28年)12月1日

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 専務理事 浅川 伸